# 枯尾華 上

與二

へ 5
1858
1

芭蕉翁紀行

[illegible]
[illegible]
[illegible]

今年就中老衰なりと歌あへる抑
世を孤独貧窮の人を徳業のなきは
ものの量なり二十餘人の門弟を
ひとつに合住する因と縁との不可思
議なるもの歟御所破壊の天和三
年の春深川の草庵急火にかゝるを
流れひとり笘をつゝみ蛾のごとき
世のひとゝ是てむの結のごとき物

と言ふ物如火宅の変を悟り無所
住の心を発し其次の年夏の末
甲斐の根本くしてしの生のあるかゝみ
つもなのうれをとゝろ更月下入ル
無我ならんとゝ昔の跡を立帰りおもふ
ものとて人ゝ物ゝ焼原の雋州
なるもとゝもまたしも心ゝまある涵
みもとゝつゝ乃芭蕉を植ゝ雨中吟

芭蕉翁ハ水盃ヲ面白ク思ヒ
侍ラレシ堪因の文ヲ受ケ給ハリ
ものつくり芭蕉翁ハ
成せるの巳圓覺ル大巔和尚ヨリ
易ヲ受ケ給ハリ
侍ラレ或時翁ハ卦の爻ヲ
年月時日ヲ古暦ヲ合セテ筮考セラレ
ラレシ華ヒシ卦ヲ受ケ給ハリ是ヲ一



そもそも易ハ風ヲ吹き雨ヲ降ラシ
うるおす陰陽ハ
つきなく始て世の中ハ
ならさるものなとよみて
潛なんとすれとも
ものこと心やすんするなと
う信ヲ聖典の瑞を感ル
そもそも此易ハ

[illegible]も[illegible]所
[illegible]橋[illegible]舟を[illegible]場[illegible]もの
[illegible]流[illegible]と眼前の奇
景を[illegible]
むかしより[illegible]と[illegible]
る[illegible]貞享[illegible]知利
[illegible]
心のことば[illegible]世

[illegible]の[illegible]茶の
羽織[illegible]
[illegible]
面[illegible]名[illegible]
[illegible]
[illegible]風乃
吟[illegible]徳[illegible]
[illegible]近在隣郷[illegible]

[illegible]

[illegible]

衰憊して病屑のごとく田みのうて[illegible]

[illegible]

いるところ幻住庵（猿蓑子記あり）義仲寺

おくの所至る処の風景を心の物の多

遊へるとき年ゆ元来混本寺佛頂和尚

下嗣法ひとり禅乃法師といふ

一氣鉄鑄生（ナス）いとをひとりとなる老男

くつをるとすの句毎のくひる姿まく

も自然と山家集の骨髄をなるる

ものくるとの杜子美と

なるとやうと貪交人の屋く喫茶の舎

盟と於て宗鑑ら酒落も敲乃ひと

うくと成て自由躰放狂殊世拳ッて

口くつせも現力と化篤實のちあと

風雅の妙を白ひゆるゝ大樹を
流れ雪ひゝるゝ滝しぶきの水沼
沖須島の松を引たる大なる
まゝ行くとの枝囲ある所を兼好こんさ
西行高野さ宗長白川さ芭蕉の載の事ども
故人なるゝ芭蕉翁ついてあるゝさ
みえしるゝとさるれんの糸の姫





なのもゝ眞のゐるゝとゝ記ゝ十餘年の
うち杖と笠と紙を手ゝ十日も止
まる所をゝ我胸の中を祖
神のさゝめ心と行ゝ任
せ蛇の心ゝ焚火焚是ゝ慈悲和
尚のゝ世よ中ゝ孤蓬ゝ桃
ゆゝのゝゆゝ先をみるゝとゝ
ゝ思ゝ合せゝ行ゝ遊子ゝ一

生きながらへてさらぬ別の生涯
をうらんし四ツ[illegible]ひむすひつる深川の[illegible]
又立出るそ[illegible]萬や等數の老[illegible]
人を泣るそ[illegible]とうをたなりしか心[illegible]
かしくさにうくめしてうのそてみてひ
伊賀の[illegible]さ[illegible]をうの[illegible]三月乃紀
[illegible]の[illegible]しの[illegible]をうひの今
心あるん人なみせやそ[illegible]の[illegible]

人[illegible]をうの[illegible]籠[illegible]伊賀
[illegible]の[illegible]社神の[illegible]
九月廿八日の膳所の曲翠[illegible]
[illegible]
の[illegible]
[illegible]伊賀山の嵐紙帳[illegible]
菌(ケヤヒラ)の堤(カエ)積[illegible]
[illegible]例の[illegible]

七月晦の頃より床をも泄痢度
重けれども物いとかもなく手足氷の如きハ
あれども此のつゝまるゝ中の去来
京より詣づるゝ膳所より西京大津
より本節山刑丈州平田の李由つゝの底
より有馬惟然などゝ来る旅おもをたゞの
よ待るもとより心神の散乱なるを
以て不詳ものゝ近くも招

この度はわが命運を祈る色あり耳を入れる
為にて命運を祈る色あり耳を入れる
みゝ心弱よりゆるのゝ
旅の病ゝ
まゝ拍子を出るゆゑ心もせたと
やまゝ
よよ死んの乱ゝ
しハ日の長ゝ

賀會祈禱の句

春つまやりて[illegible]て秋集り　木節
風の気[illegible]の[illegible]　去来
[illegible]行の梅のみてさくい　惟然
初雪の[illegible]しあらん佐太の宮　正秀
神のるる[illegible]　雪の[illegible]之道
[illegible]　伽香
起[illegible]も[illegible]　湯[illegible]　支考
[illegible]　呑舟

峠[illegible]暗の[illegible]　文仲
日の[illegible]　[illegible]の菊　[illegible]刈

是を生前の笑納[illegible]木節の茶を[illegible]
[illegible]
[illegible]
呑舟と舎羅[illegible]道[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

けるよりくるしみて病床さらにたちの
いとんうるおく懐ヲモヒ
かたのよ色乃相を
かくしうる色ゑしの深志の通し給
住吉の神の川上のあるかぎりあらはす和の
のうるおもおつるうるおくみたるとも世
思ひのうに蟻通の神の物とうるわよも
みうるく色付るゑ中ゆく消せよあけて
うつくすりれるを去ゆ考うかるうよ

おのくゆよ退いくく妄昧の心を物ちうう
膝ちゆうちて病顔をみるうゆめくあを
あくて知死期も宮ちのくくくくう
吹井うう落ちを招ん所ゆうな　晋子
うれ拾うしなくうちゆうん物ゆ推の
ホあるりと所のし幻住庵ハうよ世の遠
本曽殿を塚をなくくうしうの世毎
なのうう白ゆあるを具ようう知の

[illegible]常[illegible]
[illegible]表と思へ[illegible]
[illegible]れ行[illegible]
なる菜をつくしもる千仏のもとを寝を
[illegible]て原本千
うつくしき仏菜の下乃寒さ　夫艸
病中のあまりすさまじ　吉来
川[illegible]んと寒さ　笑ひ声　惟然
志[illegible]きて次のうく出る寒さ　支考

ありひ家を仏[illegible]　正秀
園として菜飯[illegible]仏[illegible]　木節
皆[illegible]　寒く[illegible]乙刃

十二日の申の刻[illegible]死[illegible]
睡[illegible]物[illegible]
[illegible]櫃[illegible]の用[illegible]
[illegible]川舟[illegible]去来　乙刃　艸[illegible]考
惟然正秀　木節　呑舟　[illegible]次[illegible]来

[illegible]十人給[illegible]亦寒[illegible]
[illegible]
[illegible]孫[illegible]称名[illegible]
[illegible]日[illegible]
[illegible]潛の光をしるひ
[illegible]君[illegible]
[illegible]慕[illegible]
[illegible]つ東南西北の招
[illegible]栖[illegible]定[illegible]

奥松島哉の白山[illegible]
[illegible]の歌[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]人の思[illegible]
[illegible]伏見[illegible]
[illegible]義仲寺[illegible]葬
礼[illegible]信[illegible]京大坂大津[illegible]の
連[illegible]者[illegible]慕

百余人に浄衣をのみ智月と刑の毒
をひたすら着せものせし則義仲寺乃
直愚上人をみちびきしにおのが
引入る所よかるものとて水を塚乃右み
なくなく土をひおきてつくりしつ
かる柳をもうつしてその墓にちきりをん
やうのまのあく卯塔をもひたすら垣を

志賀の秋のくれもはてなのうみを
波常に風景をこのみる癖ありしかも
所をなのうち山田上山をうるおしてこれも
なおふのせ溝出る舟も紀念の紀を
のこす樵歌の廉田家の雁遺骨を淵
上の月をうしなひてうしなひし翁
なりしを七日の程こもりてのくやみ
追善の奥ちり幸とおあくるハ予しかと

人々のみけあを合感して愚子絶
事の紙を殘し侍るこそ和歌するみち風
のつてみ我翁をきたのもんぜいハ見を
回向乃為ならんを

於粟津義仲寺牌位下　晋子書

元禄七甲戌十月十八日　於義仲寺
追善之謝諧　晋子

なのりうを笠ふ陰ゆ拾ふ毛
温石はらく寄る波ゆ　文考
はかのわらを山ゆ　丈艸
ひとくさの土の緑ゆ生る　惟然
つみ捨し市の長屋ゆ　木節
はるさめ夕ゆ乃雨　李由
森の名をわのもらる月の影　之道

世の茶の湯鶏冠　去来
ゆの字田中なるべきより　曲翠
移り移り　移ひ行く　正秀
朦朧さしもの肩の物思ひ　即高
はのらすもあ　くらのむ　泥足
てぐ沈みと舟の豆腐を世話する　凵列
赤ん人を　ある　芝柏
菁子　葛菴　句　天氣　合　昌房
車の　はぐ　探芝



沈みの　川　胡故
夏　下　ある　する　牧玄
菴の　ひ　の　雨　游刀
ゆ　ゆ　お　乃　蘇葉
世の　集の　乃　情　智月
多羅の　立　育　呑舟
ひ　ひ　み　統　侍　土芳
十　る　刀　荷作る　卓袋
四十　お　髮　卿　夫椿

昔よりなれるものかな　野童
一番にて未つむ花を寝せるより　素聲
糸の留まるまでおしまる酒　万里
酒風の思のかたに成ぬ　誠々
藪くあまりて雀なる乳　這萃
塩賣のてらうある　池筒　許六
月のひかりさみたまへ　紺　田鬼
秋ふかく鶴なるもてなすの　荒雀
くれまさる巡る立　綿改　楚江

小屏風の内ちらす乱し　野明
ひらくなる色都さまを寒る　風国
初んちよ草鞋ちけてくる　木枝
如人堂みて法をもちり　晋子
ひらたも侍氣みはおもく　角上
あるくと雪中ふく　之道
あ是色と色の小袖月和し　去来
挽ちる色のくぐり　土芳
春るまもちの　芝柏

[illegible] 臥高
[illegible] 尚白
[illegible] 門の井の垢離 昌房
秋の夕 蓮[illegible] 舟野
[illegible] 丈艸
[illegible] 惟然
養[illegible] 芙蓉
小侍[illegible] 正秀
[illegible] 田急

日[illegible] 朴吹
袋の猫[illegible] 角上
星[illegible] 泥足
[illegible] 尚白
七[illegible] 阜袋
二[illegible] 芝柚
内[illegible] 探芝
[illegible] 游刀
[illegible] 楚江

[illegible]の地元[illegible]府　魚光
社[illegible]五[illegible]十[illegible]立[illegible]　晋子
祈[illegible]代[illegible]殿　風國
[illegible]溢[illegible]水上[illegible]引[illegible]　文考
乳母と傳[illegible]送る時[illegible]　正秀
物[illegible]の柏[illegible]ける昼下り　文艸
雨氣乃[illegible]　昌房
[illegible]祈[illegible]の普[illegible]　即高
[illegible]所[illegible]島　新[illegible]田　[illegible]道

[illegible]の仏合[illegible]の昏の[illegible]　寺来
木像[illegible]侍[illegible]ゆる[illegible]　泥足
[illegible]く牛[illegible]　尚白
[illegible]の[illegible]　草袋
連[illegible]我[illegible]の[illegible]　角上
[illegible]む[illegible]の天　牝玄
[illegible]聖霊　土芳
[illegible]負[illegible]　芝柏
村[illegible]伊舞講の種
[illegible]小鮒の[illegible]加減　這華

軍を祖父げる物　臥高
渕を隔てる陸墺の上を過る　晉子
数日のもてなし念珠押もむ　正秀
貴人の高所つづれを著寒し　文考
ひとすがらに賛ぬ大小の額　魚光
味噌つきいゆ仕力をわる地　楚江
かふ蘇一の仙ら　可笑子　游刀
ぢくぢくと恨を吹しばら　風國
都赤ら仕るこうろん酒の辭　之道

自鳥の捨を蔓なる柳セうん　探芝
三河ゆりは天下一　去来
飯ちるて内気もるるの月　尚白
切者の猿をみてもるる秋　田龍
うるる寒ぶ堺格子の窓ぶる　芝柏
文庫をおろし稲山伏　土芳
ぶるも吹て五月の目のもさ　惟然
ぶくも迫ぶ武庫川のの　丈州
寮みるる外ぶ鎖をうけさせ　牝玄

思ふ人恢の奥より飛名 文考

青天よりとうとうと去来

巣ゑ出ちぢ千里嶺 正秀

五四十三人満尾奥行大津膳所

京嵯峨摂津伊賀之連衆也各

感愁眉而不水巧言也

傷毛師紡集作句 初七日

京玄琳

志ぶ引色京も十夜の涙ふる 傷李由

嵯峨うちの紅氣をたまの七夜彫 大津木節

母ゑ行ふ嵐も寒ゑとともちう 日乙列

つるゑ行宗祇も寸白ゑの義 膳所昌房

いつゑも涙ゑ嫁の哀 傷丈州

哭の墓をゆゑ而ゑ敷ゑ

了ひの夢ゑ行ちのとゑん帰ゑ 志根許亡

風ゑ行みゑ行の冊のゑん 同没村

墓もとゝ十字の色のうるはしゝ　ぜゝ探芝

初席の酒のあとゝや新の春　大津楚江

はるゝ者の苦の色　吾乃春　雲田成秀

木弓柿やあるかうの塚の上　大つ儀と

日新たゝ塚のうるはしや　日高玉

月雪の史の俳みや笑の脚　俗千那

ちゝけ絹の紙の元禄の人　大つ尚白

ゝゝ翁の涙の人ゝゝの呈言　奥羽塞をめぐりて

ゝゝとゝひゝゝゝゝゝゝ　ゝゝ

遠情のゝゝゝゝ塚をゝゝゝ　ゝ法

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　京撒士

ゝゝゝゝゝゝゝゝ　俗角上

ゝゝゝゝゝゝゝゝ　京野童

一ゝゝゝゝゝゝゝゝ墓の春　同風国

春ゝゝゝゝゝゝゝゝ　紅葉主芳

悲しゝゝゝゝゝゝゝゝ　同阜袋

我ゝゝゝゝゝゝゝゝ雄の春　大阪之石

石ゝゝゝゝゝゝゝゝ墓もゝゝゝ　同芝柏

春のゝゝゝゝゝゝゝ野山ゝ　俗文考

入月廿日洗の歌会の発句　京春沈

十六日雨ふる花の幻住庵にとまりて
夏のうくひを折とい[illegible]椎の木をたづねて
いとすこしくて仲間をたづねる

曲翠

ものしかの角のかすかにくまなく
紙衾ぬくもりあるかの色つむ[illegible]

正秀

うろくをひさすまつる木蔭に

卧高

紙ぢをみるかの岩ちみ[illegible]

泥足

見送りし雁の姿や紙の表

霊椿

すなどりも仏の木蔭[illegible]

音子

[illegible]

[illegible]

月荒雀

大坂春舟

ぢ魚光

月回鳥

月游刀

月朴吹

夕木枝

ぢ這萃

片岡の所をすゝ土の窓　大津土竜
ちゝ孫へまつる松のみちの人　ぜゞ遊亭
むしんをひしてゝ見る隙の表　月伴尤
孫うけて消みちゝ　如や女

二七日廟参之悔句所と文通

雪ゝ　わく泉の光四かみ山　宗長
小雑歳ゝ　あくゝ自らの祭りゝ　尺草
みの月や師ゝ　ゝ　大坂如柿
ゝ　ゝ　ゝ　

[illegible]　徴房
[illegible]　麻三
[illegible]　砂上
[illegible]　蛍鳥
[illegible]　向震軒
[illegible]　さゞ来几
[illegible]　尖倉雨夕
[illegible]　さゞ為有
[illegible]　[illegible]木斉

[illegible]　[illegible]加行
[illegible]　雷小作
[illegible]　京夏木

大根引ちからくらべ[illegible]

三七日伊賀連流追悼句

[illegible]　いろ玄鹿
[illegible]　榕[illegible]
[illegible]　岩岸車来
[illegible]　浅井風睡
寒菊や[illegible]の膳の[illegible]　山田雪迂

[illegible]鴨　扶桑配力
[illegible]　冠蘇
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
佐治洞水
西沢魚目
[illegible]
岸乃和
[illegible]

借[illegible]
[illegible]
芭蕉　桂[illegible]
[illegible]の小[illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

大坂[illegible]
猿雖
[illegible]
桂田示峰
井[illegible]
[illegible]
中[illegible]
中[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible] 男[illegible]ふ　五番左木
笠を[illegible]　井[illegible]
[illegible]　宮[illegible]
[illegible]　宮角[illegible]
[illegible]　大久保仙枝
[illegible]　松[illegible]氷固
[illegible]　内神九節
[illegible]　いう半殘
[illegible]　西[illegible]百歳

[illegible]の[illegible]　七所の書書[illegible]
[illegible]　[illegible]文字の拘[illegible]
[illegible]茶の[illegible]

限[illegible]　滿[illegible]
[illegible]　赤川鳥栗

四七日を[illegible]　普音文通之句
[illegible]乃紙の[illegible]　伊[illegible]仲
[illegible]　日園交
[illegible]　日宮芽
[illegible]　日宗比
[illegible]　日斗從
[illegible]　日芦本

[illegible] いセ援不
[illegible] 日尾牧
[illegible] 尾州春川
[illegible] 日素笑
[illegible] 日尤次
[illegible] 紀堂
[illegible] 大坂伽香
[illegible] みの低耳
[illegible] 伊与黄山

上終

下七終